

# 木山の御拝塔

—木山—



木山下町の県道から、プロパンガスの西側路地を入ると、石垣の上に「御拝塔」と呼ばれる石造物があります。周辺にある五輪塔の残欠群は、木山氏代々の霊廟であると伝承されており、室町時代に木山に入部した後の木山氏の痕跡を示す数少ない遺跡のひとつです。

御拝塔とは、遠方に葬られている恩人などを朝夕礼拝するために建てられた供養塔のことです。『國郡一統誌』寛文7(1667)年によれば、木山の御拝塔は阿蘇忠光院と木山城主の廟であることを伝えており、木山氏が阿蘇大宮司忠光院を大恩人として御拝塔を築き崇めたことがうかがえます。

木山氏の菩提寺であった香雲山道安寺は2町(約220m)四方あり、北は現在の道安寺付近まで、南は加藤神社、東は県道の四つ辻、西は壇引地藏付近までの寺域を持つ大規模寺院であったといわれています。

御拝塔の前にある樹齢数百年と推定される榎の大木は、平成23年6月の大風で倒れたため、根元から5mほど残して伐採されました。その際被害に遭った加藤神社は、地区のみなさんの浄財で建替えられています。

以前は老人会で手入れされていました。が、高齢化により、最近では隣接する家の人たちが中心となって境内を守っています。境内には地藏も合祀されており、8月には「地藏祭り」で賑わっています。

参考文献 「益城町史」通史編

町文化財保護委員会

## 俳句

早川宏次 選

はなやかな紅白しめる除夜の鐘  
水源に若水汲めば身も清し  
お雑煮としみるおと蘇で祝節  
新年を新居で祝いベビー待つ  
メ飾り無くて雀も寄りつかず  
冬至過ぎ米粒程に日は伸びし  
キンカンの甘酸っぱさや母偲ぶ  
ちらちらとまい散る雪に手を延べし

木山 増岡 伸禧  
広崎 松原まゆみ  
惣領 新居 露子  
下陳 城 陶子  
惣領 小森英美子  
惣領 阪口 基明  
木山 山口サツキ  
惣領 阪口由美子

## 狂句

田上富岳 選

今年こそ 見せてくだはり孫の顔  
今年こそ 初志貫徹でいくけんナ  
今年こそ あの娘のハート欲しかねえ  
今年こそ 嫁ってしまえと天の祖母  
今年こそ 日本力士の網期待  
今年こそ 言わすばかりで計もなか  
向き不向き 高い所で縮む玉  
向き不向き 人には人の特技あり  
向き不向き 贅沢言えぬ失業者  
向き不向き 一目惚れではわかるみゃ

宮園 永瀬 美波  
宮園 井藤 吉郎  
江津 高田美佐子  
島田 堀川 骨鶏  
木山 増岡 酔粋  
惣領 阪口 基明  
寺迫 左 喜樹  
広崎 松原まゆみ  
惣領 小森英美子  
宮園 岩本ようこ

狂句次号の課題 「やっこいさ」 「期待外れ」

投稿は役場広報係まで。漢字は読み方を記入。  
投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。  
※数種に投稿される場合は、別にお送りください。